

各位

2002年3月15日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年2月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	1.9	3.8	±0日
横浜店	3.6	1.1	±0日
新宿店	2.1	3.4	±0日
関東9店計	2.1	1.0	
大阪店	7.5	3.9	±0日
京都店	2.5	3.5	+1日
関西9店計	1.9	0.7	
全店計	2.0	0.9	
法人事業	18.7		
通信販売事業	18.1		
広域事業(店外)計	56.8 (18.4)		
合計	12.7 (3.9)		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建築事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。

()内は前年数字より建築事業を除いた実質増減率。

商品別売上高前年増減率

紳士服・洋品	10.9
婦人服・洋品	5.1
子供服・洋品	1.9
その他の衣料品	11.4
衣料品計	6.7
身の回り品	0.7
家具	79.0
家電	6.6
その他の家庭用品	8.5
家庭用品計	53.4
食料品	0.1
食堂・喫茶	2.3
雑貨	5.4
サービス	7.8
その他	18.1
合計	12.7

概況

百貨店事業	<p>売上高は、前半の暖冬による重衣料の不振、後半は気温不順による春物衣料の動きが鈍かったことにより、主力の衣料品で苦戦した。また、改装工事中の東京店・大阪店等の売場面積減の影響もあり、全店計では2.0%と前年を下回った。店舗別では、昨年改装実施店舗である新宿店・京都店・岡山店(+7.6%)・堺店(+4.2%)や泉北店(+5.7%)、高崎店(+0.1%)は好調に推移したものの、その他の店舗では前年割れとなった。商品別では、婦人雑貨(+3.4%)、特選衣料雑貨(+3.1%)、食料品(+1.8%)等は健闘したが、婦人服(5.2%)や紳士服(8.8%)、紳士雑貨(10.9%)等が大きく前年を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口受注の不調等の影響で、また、通信販売事業は衣料品・リビング用品の不調等により、ともに前年を大幅に下回った。前年の建築事業売上分を除く実質ベースでは18.4%。</p>

お問い合わせは、高島屋本社広報室(東京) : 03 - 3246 - 4351

〃 (大阪) : 06 - 6631 - 5499 までお願いいたします。

以上